

はもりあ

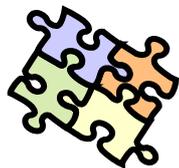
「はもりあ」とは造語で、女性と男性の協働という素敵な“ハーモニー”が奏でられる“中核エリア”という意味です。

2006年10月に公募で決定した男女共同参画センターの愛称です。

2009年6月1日発行

5月29日(金)に「はもりあ四日市利用グループのつどい」を行いました。

昨年度のグループチャレンジ支援事業と調査研究事業の報告、今年度事業の紹介、そして参加グループの皆さんで意見交換をしました。出席した皆さんから、「各グループの活躍ぶりに刺激を受けた」、「原点に戻って男女共同参画とは何かを学ぶ研修をしてほしい」、「他グループがどんなことをやっているかもっと知りたい」などさまざまな意見がありました。皆さんから出てきた意見を踏まえて、はもりあ四日市を拠点にもっともっと情報発信し、そして魅力ある事業を実施していきたいと思えます。



6月23日～29日は男女共同参画週間！

「男女共同参画社会」とは、性別で役割分担を固定することなく、一人ひとりが平等に扱われ、職場、地域、家庭、学校などで、男性も女性もそれぞれの能力に応じて力を発揮できる社会のことです。

近年、個人の生き方や生活が重視されるようになってきましたが、まだ、職場や家庭、地域社会などでは、性別による固定的な役割分担意識が見られます。少子高齢化など、地域社会を取り巻く状況も多様化しており、一層男女共同参画社会の実現が望まれます。そのためには、国や市だけでなく、みなさん一人ひとりの取組みが必要です。

今年の標語は 「共同参画 新たな社会の パスワード」

国は、各地で男女共同参画社会の実現に向けた取組みが広く行われるよう、平成13年度から毎年6月23日～29日までの1週間を「男女共同参画週間」と位置づけ、重点的に啓発活動を実施しています。

今年の標語は、「共同参画 新たな社会の パスワード」と公募により決定しました。

今年も県内男女共同参画センター連携映画祭を開催します！

四日市市も、市民の皆さんに男女共同参画についての意識を広げていくために、県内の男女共同参画センターと連携して啓発活動をしています。その一環として、平成19年度より、県内の男女共同参画の推進を目指し、男女共同参画週間にあわせ、県内の3センターで連携して映画祭を開催しています。20年度に伊賀市・名張市が、そして今年度から伊勢市・亀山市・志摩市が加わりました。

男女共同参画の視点で映画を見て、あなたも一度男女共同参画について考えてみませんか？

6月6日(土)	三重県会場 「マルタのやさしい刺繍」 フレンテみえ 多目的ホール	7月4日(土)	四日市市会場 「ミス・ポター」 四日市市文化会館 第2ホール
6月20日(土)	鈴鹿市会場 「ちゃんこ」 鈴鹿市ふれあいセンター	7月4日(土)	名張市会場 「西の魔女が死んだ」 名張市総合福祉センターふれあい
6月27日(土)	伊勢市会場 「ぐるりのこと」 ハートプラザみその 多目的ホール	7月5日(日)	志摩市会場 「西の魔女が死んだ」 志摩市阿児アリーナ ベイホール
6月27日(土)	伊賀市会場 「ハッピーフィート」 あやま文化センター	7月12日(日)	亀山市会場 「西の魔女が死んだ」 亀山市青少年研修センター 1階集会場

チケット・託児等の詳細は、はもりあ四日市、各地区市民センター等市内各施設に設置してあります、ピンク色のチラシをご覧ください。

“ミス・ポター” を上映します！

はもりあ四日市は、毎年、男女共同参画について考えるきっかけづくりとして、映画会を開催しています。今年度は、「ミス・ポター」を上映します。

この映画を選定した理由は、男性と女性で大きく生き方が違った時代を取り上げた映画だったからです。

ピーターラビットの作者である、ビアトリクス・ポターが生きた20世紀初頭、多くのイギリスの上流階級の女性は、学校に行かず、家庭教師と勉強をし、適齢期になったら結婚、そして子どもを産むといった決められたルールを歩んでいました。しかし、ポターは、親がすすめる縁談を断り、絵本作家になるという夢を成し遂げました。固定観念を打ち破り、自らの力で夢をかなえ、自らの人生を自らの手で切り開いていくポターの姿を、皆さんに見ていただきたいと思い、選定しました。ぜひ、みなさん、ご覧ください。



日時 7月4日(土) 13:30~15:10

場所 四日市市文化会館 第2ホール

料金 500円(チケットは、はもりあ四日市、四日市市文化会館窓口、あさけプラザ、楠総合支所振興課、楠プラザ、フレンテみえ、ジェフリーすずか等で発売中。はもりあ四日市では、予約も受付中)

託児 あります(無料ですが6月26日までに予約が必要です。)

問合せ・チケットの申込みは、はもりあ四日市まで

(354-8331 FAX354-8339)

「男女共同参画人材リスト」事業をしています。

四日市市は、政策及び重要な市政方針を決定する場に、男女が等しく参画できることを目指して、審議会等の委員がどちらかの性に偏ることのないよう、「男女共同参画推進条例」及び「審議会等女性委員登用推進要綱」に基づき、女性委員を積極的に登用する取り組みを進めています。

平成22年度目標は、「男女の一方の数が委員総数の10分の4未満としない構成」

「審議会等女性委員登用推進要綱」では、平成22年度中に女性委員の登用率40%を目標に掲げています。しかし、各課には委員をお願いできる適当な人材の情報がないとの意見があり、男女の均等な参画を目指すため、平成18年度から「男女共同参画人材リスト」事業を実施しています。

平成21年3月現在、「男女共同参画人材リスト」には、97名の様々な分野で活躍する女性有識者にご登録いただいております。

女性委員だけの人材リストなのに、男女共同参画人材リスト？

「男女共同参画」というのは、単なる「男女が一緒にいればいい」、「男女が仲良くしてればいい」ということではありません。一人ひとりが平等に扱われ、社会のあらゆる分野での活動に男女がともに参画し、ともに責任を担うという考え方です。市民の半数を占めている女性の意見を計画や政策決定の段階から取り入れ、男女が対等な立場として意見を出し合い、責任も分かち合うことは大変重要です。しかしながら、現実には、四日市市は、委員構成で男性の占める割合が70%以上の審議会がまだまだあります。審議会の女性委員の比率を上げ、市政に男女が対等に参画することを目的として、この人材リスト事業は実施しているため、「男女共同参画人材リスト」という名称がついています。

登録いただいた方全員に審議会委員になっていただけるわけではありませんが、各課から委員の打診があった際には、ぜひお引き受けいただき、積極的に参画し、意見を述べていただけたらと思います。

介護の未来を考える 第1弾 「いのちの作法」映画会 開催しました!

5月30日(土)に、本町プラザ1階ホールで、映画「いのちの作法」を上映しました。

今回の映画上映を企画したNPO法人四日市男女共同参画研究所は、女性の自立を支援するとともに男女共同参画の視点を持ったまちづくりをおこなうことを目的に活動されている団体です。

介護においても男女共同参画の視点を持つことが重要であることと、また、この映画を見たスタッフの方が、ぜひ四日市で上映したいという思いから上映が実現した映画です。

参加された方々から「産まれてくる子どもにも希望があるが、老いて死を迎える人達にも希望があることを学んだ」、「地域がひとつになり、色々な行事をみんなで作りあげることが、素晴らしい事だと感動しました」、「資源のない日本が、国を挙げておこなう必要のあることがここにあった」等々、たくさんの感想をいただきました。



(上映前の会場の様子)

今後は、8月頃「介護サービスの不満・不安」を気軽に話し合うおしゃべり会を、そして11月頃にちょっと変わった介護施設への見学会を企画予定です。この情報紙「はもりあ」、広報よっかいち等でご案内いたしますので、ぜひ、ご参加ください。

今月のおすすめ本

今月は、父の日にちなんで、タイトルに“パパ”が入っている本を2冊紹介します。

「^{りょく}パパ力、はじめよう!

~子どもで人生を変えた男たち~

仕事人間だった男性たちが、子どもが生まれたことによって人生を変えていく……。この本に登場している8人のパパたちは、8人8様の^{りょく}パパぶりを発揮して、子育てを楽しんでいます。まったく異なる8人の^{りょく}パパ力、あなたも読んでみませんか?

「この本よんで! PAPA s絵本33」

この本は、長女が生まれることをきっかけに、自分の中にあるOS(生き方)を入れ替え、仕事人間からパパを楽しむ生き方に変えた安藤哲也さんが書かれた本です。読み聞かせにぴったりのオススメ絵本ごとに、オススメの曲(ロック)が選曲してあります。また、おまけで絵本にちなんだ安藤一家の日常が4コマ漫画で描かれているのもお茶目です。



今月のキーワード

アンペイド・ワーク

日本語では一般に「無償労働」と訳されています。これは、家庭や地域において、お金は支払われていないけれども、私たちの生活に必要な労働「家事」「家庭内介護」「育児」「PTA活動」「ボランティア活動」「地域活動」などが相当します。こうした対価もたらさない労働は、労働統計にも計上されず、“見えない労働”として扱われてきました。

1997年に経済企画庁が発表した「無償労働の貨幣評価」によると、無償労働をお金に換算すると、国内総生産(GDP)の23%強にあたり、その85%近くを女性が担っているという結果が出ました。

男性がアンペイド・ワークに従事できない理由としては、男性の仕事が忙しすぎることや、「家庭内の仕事は女性の仕事」という意識が強いことなどが考えられます。

男女共同参画社会とは、男女が有償労働と無償労働をバランス良く担える社会であるということが、いまや世界の共通認識となってきました。国レベルでの支援策のもとに、住み良い社会を目指して私たち一人ひとりの意識改革が必要だと思われま

登録グループイベント情報

- 6月14日(日) 「こどもを勇気づける子育て」2009 アドラー心理学講演会 in 岐阜
アドラー心理学に基づく科学的でハートフルな子育てのお話をさせていただこうと思います。
時 13:30～16:30 費 3,000円 所 ハートフルスクエアG 大研修室(JR岐阜駅より東へ徒歩2分)
問 パセージ四日市 田口(携帯090-8868-9649)
- 6月22日(月) 手塚千砂子さんによる ～いのちの声を聴く自己尊重トレーニング～
一人ひとりが持っているプラス面に目を向けるトレーニングと、体の感覚に集中し心身を癒すトレーニングの組み合わせに解説を交えて、体と心のひびきを味わいます。
時 10:30～11:30(未就学の幼児の親子) 12:30～13:30(マタニティの方と幼児の親子)
費 1,500円 1,000円 託児300円 所 楠ふれあいセンター ゆめの木
申・問 子育て広場 ドロップin (TEL059-363-3728)
- 6月28日(日) まま～ずマーケット
子育て中のママの、ママによる、ママのためのフリーマーケット 出店者・ボランティア大募集!
時 10:00～14:00 所 山田町高若センター
問 みっくすじゅうす 田中(TEL059-328-1111 携帯090-4216-8133)

登録グループ紹介

はもりあ四日市に登録されているグループさんを紹介していきます。今回は、よっかいち朗読文学の会さんです。

よっかいち朗読文学の会

代表者 雨澤 みね 会員数 30名
連絡先 059-337-1873

川端康成、幸田文、泉鏡花、小泉八雲、井伏鱒二、内田百閒を今年度は読みます。偶数月の第3金曜日午後1時半から3時半までの2時間、日本文学の名作を楽しんでいます。講師は近代文学研究家の河原徳子先生が務め、美声で朗々と読み語り、作家の人生や作品の背景などユーモアを交えて解説していただきます。会費は1回500円。はもりあ四日市・会議室で開催。ぜひ、ご一緒にどうぞ!

忘れ物について

はもりあ四日市でのお忘れ物が、大変多くなっております。特に調理室での、ふきんや持ち帰り容器を多数お預かりしています。保管期間を1ヶ月とさせていただきます。お心当たりのある方はお申し出ください。また、利用後お部屋を出られる際に、忘れ物がないかどうか今一度の確認をお願いします。



四日市市男女共同参画センター (はもりあ四日市)

〒510-0093 四日市市本町9-8 本町プラザ3F
TEL.059-354-8331 FAX.059-354-8339

●開館時間 AM9:00～PM9:00

●休館日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始

Eメール kyoudousankaku@city.yokkaichi.mie.jp

http://www.city.yokkaichi.mie.jp/danjo/index.shtml